

直播の播種方式により栽培管理方法が異なるので、以下の注意
 点に留意の上、適切な作業を行いましょ。

1 カルパー直播の注意点

① 催芽状況の確認

- ・ 大半の粃がハトムネ状態になるよう、
 浸種・催芽を確実に行いましょう。(右図参照)
 ※今年の種子の休眠は、平年並みです。



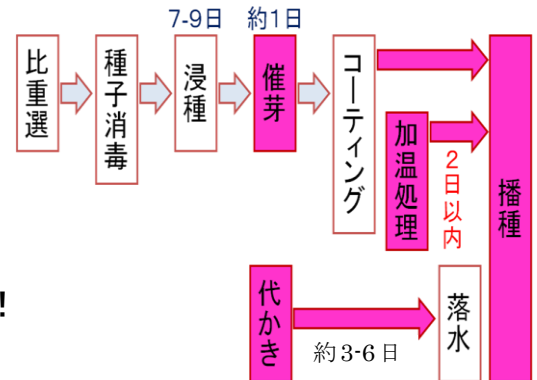
② コーティングの目安

薬剤のコーティング量

- ・ 乾粃 10kg に対し、カルパー粉粒剤は 15kg、
 タチガレース粉剤は 300g 必要です。

コーティング種子の加温処理

- ・ コーティング種子を**加温処理(30℃×24時間)**
 すると、出芽が早くなり、苗立ちが揃います。
 ※ただし、加温処理後は、**2日以内の播種を厳守!**
 (それ以降は出芽率が低下します)



<作業スケジュールの手順>

③ 基肥量の目安 基肥窒素量は、移植の9割を目安 (kg/10a)

品種	肥料名	砂質田	壤質～粘質田
コシヒカリ	LPss 直播コシカリ	28～30	20～23
てんこもり	LPss 晩生専用	35～38	30～33

- ・ 転作跡田、堆肥施用田、強粘質田では、倒伏を避けるために、
 移植の8割程度に減肥をしましょう

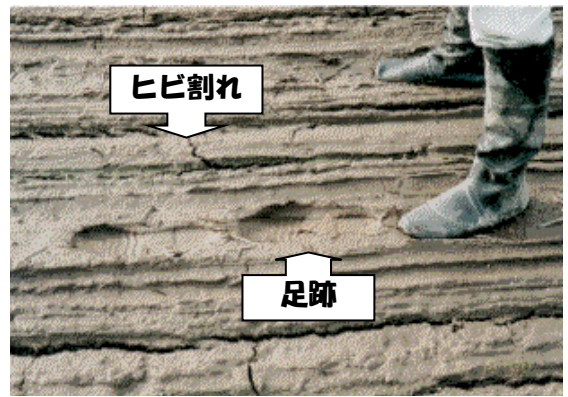
④ 播種 コーティング 種子の播種深度は、土中5～10mmに!

- ・ 播種量：乾粃で**2.5～3.0kg/10a**
- ・ 播種深さ：**5～10mm**で播種しましょう。
 ※深く入りすぎると、出芽不良になります。
 ※覆土がしっかりされないと、鳥害、除草剤の薬害や倒伏の発生が懸念
 されます。
- ・ 播種時には、オペレーターは運転に専念し、**補助者が覆土の状況や種子・
 肥料の減り具合を確認**してください。

裏面もご覧下さい。

⑤ 播種後の田干し

- ・ 土壌表面に**細かい亀裂が入るまで**、ほ場に依じて3～7日程度田干しを行いましょう。
- ・ 足を踏み入れ、2～3cmしか沈まなくなったら田干し完了です。
(右写真参照)
- ・ **田干し完了後は速やかに入水し**、イネの生育を促しましょう。



⑥ 除草剤の散布 (例)

播種5～7日後頃
入水と同時に散布

稲1葉期以降～バエ2.5葉期まで

プレキープ1キロ粒剤 1kg/10a

ゲットスター顆粒 80g/10a
スマートフロアブル 500ml/10a
ウィナー1キロ粒剤 51 1kg/10a
バッチリ1キロ粒剤 1kg/10a
のうちいずれかを散布

※上記の薬剤は加温処理をして播種した後、苗立が良好なら省略も可能です。

2 鉄コーティング直播の注意点

① 基肥量 カルパーより更に減肥する

- ・ 鉄コーティング直播では、**移植より窒素成分で1～1.5kg/10a程度減肥**しましょう。(LPss 直播コシヒカリでは 5～7kg/10a程度)
- ・ 転作跡田では倒伏が懸念されるため、更に減肥しましょう。

② 播種 鉄コ種子は、ほ場表面に播種!

- ・ は種量：カルパーより多めの**乾粕で3.0～3.5kg/10a**としましょう
- ・ 種子が埋没しないよう、早めに落水して**土壌がある程度しまった状態でほ場表面に播種**しましょう。

③ 除草剤と水管理

播種後すぐ入水して
散布

薬害を受ける
リスクが高いの
で、厳守!!

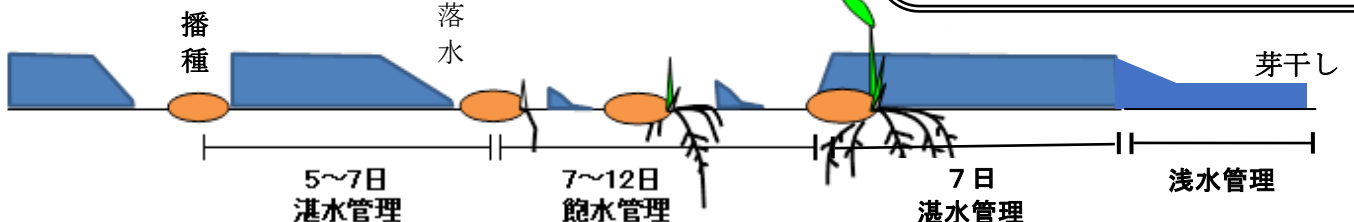
稲1.5葉期以降～バエ2.5葉期まで

プレキープ1キロ粒剤
1kg/10a

入水

<散布例>

ゲットスター顆粒 80g/10a
スマートフロアブル 500ml/10a
ウィナー1キロ粒剤 51 1kg/10a
バッチリ1キロ粒剤 1kg/10a



※水を切らさずに溜めることで、根を張らせ、転び苗等を防止